

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度国際ロータリー第2690地区のスローガン
希望の種を播きましょう。育てましょう。2023-2024年度岡山北ロータリークラブのスローガン
存在感のあるクラブを目指そう

2023～2024年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30～13:30

理事・役員

2023.7～2024.6

会長(理事) 岸 本 達 也
副会長(理事) 高 橋 茂 樹
幹事(理事) 永 山 雅 己
副幹事 磯 島 慈
会 計 双 田 一
S.A.A.(理事) 上 野 山
副S.A.A. 妹 尾 剛 人

会員増強・退会防止(理事) 安 原 孝 則
広報(理事) 坪 井 翔
奉仕プロジェクト(理事) 中 山 賢 太 郎
ロータリー財団(理事) 橋 田 歳 行
親睦活動 馬 場 幸 三
プログラム 杉 本 康 成
直前会長 廣 野 景 治
次期会長 高 橋 茂

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)

きょうのプログラム

「総社RCとの合同例会」

次回5月21日のプログラム

「会場移動夜間例会」

5月のお祝い行事

会員誕生日：橋田、宮武、難波、武南君
結婚記念日：磯島(慈)、三宅、内座、双田、
角南、谷本君

前回4月23日の例会記録

出席の状況

会 員 数 51名(出席免除者0名)
出席者数 35名
欠席者数 16名

出席率 68.63%
4月ホームクラブ平均出席率 68.63%

ゲスト

米山奨学生 チョウン ヒエン ヴーン 様



米山奨学金をブン君へ

スケジュール

5月 青少年奉仕月間

21日(火) 19:00～会場移動夜間例会
28日(火) 12:30～例会

6月 ロータリー親睦活動月間

4日(火) 12:30～例会
13:40～第12回理事役員会
19:00～合同委員会
11日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
16日(日) 家族旅行
18日(火) 12:30～例会：退任挨拶①
13:40～第3回被選理事・役員会
25日(火) 12:30～例会：退任挨拶②
13:40～パスト会長会

本日のメニュー：和食

今回のメニュー：夜間例会特別メニュー

会長挨拶



日中は、そこそこ暑い日が続いています。月初の理事会で、5月からクールビズと言われたとき、早いかないと思いましたが、そんなことはありません。先週後半より、仕事着は半袖となりました。早い時期から、熱中症も心配です。くれぐれも注意してお過ごしください。

さて、先日、地区より入会3年未満の会員を対象に新会員セミナーを開催すると案内がありました。地区で、このようなセミナーを行うとは思っていませんでしたので、少し驚いていますが、対象の方にはすでに、事務局からご案内があったと思います。ご興味のある方は、ご相談ください。

また、ご報告ですが、次年度より6RCの仲間の岡山西南RCの例会場がアークホテルよりグランヴィアに変わります。これで、月曜・北西、火曜・北、水曜・岡山、木曜・西南、金曜・中央と、1週間毎日グランヴィアで例会があります。ぜひ、メイクアップに活用ください。西南RCの会長にお伺いしたのですが、例会日と例会場の変更は想像していた以上に大変だったらしく、クラブ内の根回しから始まって、届け出事項がいろいろあったらしいです。そこまでして、なぜ変更したのかは、明日の6RC懇親会で聞いてみてください。

ということで、今週は、明日に6RC合同懇親会、土曜日に新天地育児院で社会奉仕事業があります。お忘れなくご参加ください。

幹事報告

1. 4月24日（水）18：30からの「6RC合同懇親会」にご出席予定の皆様はよろしくお願いいたします。
2. 4月27日（土）新天地育児院における奉仕活動に参加される皆様はよろしくお願いいたします。
3. 4月30日（火）の例会は定款第7条第一節により取消しとなっておりますのでお間違いのないようお願い致します。
4. 5月21日（火）19：00～21：00 高田屋岡山駅前店で開催いたします会場移動夜間例会の案内を配付しております。ご出席くださいますようよろしくお願いいたします。
5. ロータリーの友4月号を配付しております。
6. 他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S. A. A.

岸本君：チョウン ヒエン ヴーンさん ようこそお越し頂きました。これからよろしくお願いいたします。

明日の6RC合同懇親会ご参加のみなさまよろしくお願いいたします。
今週末の新天地育児院での社会奉仕活動もよろしくお願いいたします。

高橋君：本日、地区研修・協議会の奉仕部門の報告をして頂きます。宜しくをお願い致します。
ヴーンさんこれから宜しくお願いします。

永山君：チョウン ヒエン ヴーンさん ようこそ北ロータリークラブへ。
次年度4大奉仕委員長の皆様 本日は勉強させていただきます。

米林君：米山奨学生 ヴーンさんの来訪を祝して。

谷本君：本日、地区協議会の報告をさせていただきます。

杉本君：早退します。

高畠君：ぶん君ようこそ岡山北ロータリークラブへ！2年間よろしくお願いいたします。

砂田君：本日、地区研修・協議会の報告をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

妹尾君：本日も多くのスマイルありがとうございました。

渡辺君：本日 米山奨学生「チョウン ヒエン ヴーン」君を、ゲストとしてお招きしております。

学業の都合で途中退席となりますが、ご本人の人となり日本語で自己紹介していただこうと思っています。皆様も、ぜひ「ぶん君」と呼んで、今後とも積極的に親交を深めていただきますようお願い致します。

山本(宣)君：地区研修・協議会の報告をいたします。

磯島(理)君：地区研修・協議会の報告をさせていただきます。宜しくをお願い致します。



スマイル報告



出席報告

委員会・活動報告



雑誌委員会 委員長 戸川茂宣 会員

4月は「環境月間」ということで、SDGsのカラフルなロゴをデザインしたスウェーデン人のヤーコブさんの「2030年の世界」の文章を紹介。

そして、ロータリーが守るニッポンの動植物の記事に、笠岡RCのカブトガニの保護活動のための清掃活動記事の紹介を始め、ロータリーアットワークコーナーでは、総社吉備路RC、そして岡山城RC・岡山丸の内RC・就実高校IACの合同事業、また、友愛の広場では岡山後楽園RC、玉野RCの記事が掲載されており、4月号には岡山県内のRCの活動が沢山紹介されていました。



親睦活動委員会 委員長 馬場幸三 会員

家族旅行を6月16日（日）に開催予定で計画を進めています。皆様のご参加をよろしくお願いします。



社会奉仕委員会 委員長 宮井 宏 会員
職業奉仕委員会 委員長 吉田穰人 会員

4月27日に開催の新天地育児院への奉仕事業の内容やスケジュールの確認と共に、当日卒業生に贈る岡山北ロータリークラブの金箔文字を入れた記念写真のお披露目がありました。

6 RC合同特別例会・合同懇親会



開会挨拶



懇親会開会挨拶（岡山東RC佐々木会長）



閉会挨拶

4月24日、プラザホテルにて6RC 合同特別例会・合同懇親会が197名の出席者で行われました。

幹事をして初めて知りましたが、県南16RCで事務局を一緒に運営しているのは東、北、西南、丸の内、北西、岡南、の6RCだけです。昨年の事務局移転の時に懇親会をしようと思った事を本年度が引き継ぎ、会長会、本音を言い合う幹事会を経てやっと開催する事が出来ました。

当日は次年度の役職ごとの席次にし、他のRCがどんな事業をしてきたか、今後どんな事業を考えているか、いろいろな意見を聞く良い会になったと思います。

閉会後は北西RCさんと二次会に行き、楽しく熱い話をすることができました。



RC会長の皆様、笑顔で勢ぞろい

（幹事 永山）

地区セミナー報告



「地区研修・協議会の報告」

次期職業奉仕委員会 委員長 山本 宣良 会員

2024年4月7日（日）会場岡山コンベンションセンターにて、地区研修・協議会に参加してきました。

本会議は11：00から開催され、次期地区副代表幹事 二木 壯様が司会されました。本会議の内容に関しましては、点鐘、開会の言葉、国歌、ロータリーソング、ホストクラブ会長挨拶、ご来賓紹介、次期地区ラーニング・ファシリテーター紹介、現地区役員等の紹介、地区ガバナー挨拶、地区代表幹事報告、地区会計長報告、地区ガバナーエレクト基調講演などでの内容で開催されました。

その後、部門別協議会場へ移動してからの昼食となりました。

13：10から部門別協議会が開催され、次年度の職業奉仕委員長の勉強である職業奉仕部門に参加してきました。会議の内容に付きましては、事前に提出したアンケート、①過去4から5年における主な職業奉仕活動の内容、②2024-25年度、あるいはそれ以降で計画されている活動について、③職業奉仕とは何か、また、職業奉仕とは何をすべきかについて、を基に開催されましたが、時間の都合上①の過去4から5年における主な職業奉仕活動の内容だけで終わりました。その内容を大雑把に説明しますと出席クラブ64クラブ中29クラブでの回答で、企業訪問をしているが18クラブ、優良従業員表彰をしているが5クラブ、学校等に支援活動しているが4クラブ、コロナ禍で活動中止しているが2クラブでした。

一番多いのが、企業訪問ですが新会員の企業とか、会員の紹介で新しい施設訪問といった内容でした。今後は大半のクラブが新しい事にチャレンジしたいという意欲が見受けられました。

次に②は省略しまして、③の職業奉仕とは何か、また職業奉仕とは何をすべきかについては、前年度代理出席された磯島会員による「地区研修・協議会の報告」を読んで、ご理解ください。職業奉仕部門会議の報告は以上です。

その後15：00より全体会議が開催されまして、全体会議の内容に関しましては、2022-23年度ロータリー財団認証バナー贈呈、地区ガバナーノミニ挨拶、次期地区代表幹事挨拶、次期地区会計長挨拶、次期地区世界社会奉仕プロジェクト申請について、部門別協議会報告6部門、次期地区ラーニング・ファシリテーター所感、謝辞、2024-25年度地区大会について、閉会の言葉、点鐘、にて岡山北ロータリークラブ出席者6名、早退者も無く地区研修・協議会を終了してきました。

最後に私の感想ですが、この会で38年ぶりに同級生に再会しまして、その事が一番の収穫かなと思いました。以上で地区研修・協議会の報告を終わります。



「地区研修・協議会の報告」

次期社会奉仕委員会 委員長 砂田 信義 会員

社会奉仕部門の地区研修・協議会の報告をいたします。

協議会はまず、リーダーの小汀（おばま）ガバナー補佐が、榊原地区ガバナーの方針・スローガンは「未来への架け橋をつくろう」であり、地域に役立つ奉仕活動の実践を通して地域の未来を創る。そして若い世代を巻き込んだ活動を目指す。これが榊原ガバナーのエッセンスとなります。なので、如何に地域に役立つ奉仕活動を行うかを意識した皆様のご意見を頂戴しながら新しい年度の奉仕活動を考えていきましょう。というお題を頂いてスタートしました。

事前アンケートは①過去4～5年における社会奉仕活動の内容について ②地区補助金等を活用された活動について ③2024-25年度、あるいはそれ以降で計画されている活動について ④クラブの公共イメージ向上

に向けての計画について ⑤その他 です。

事前に集められたアンケートについて、リーダーがいくつかのクラブの事業を取り上げ、各クラブから事業報告がなされました。それぞれの事業についてリーダーから、その事業は地域のニーズにあっているのか？またそのニーズをどうやって把握しているのか？との質問がありました。ほとんどの事業は、「継続事業です、時の会長の思いです、コロナ禍前に計画していたが実施できずコロナ禍が明けたので実施した。」との回答がほとんどでした。

2024-25年度、あるいはそれ以降で計画されている活動については、ほとんどが現在検討中でした。

クラブの公共イメージ向上に向けての計画については、奉仕活動を行う場合には新聞等の報道関係者に取材を依頼し、FacebookやSNSに投稿をするクラブがありました。

最後に古瀬カウンセラーから

今日の発表の社会奉仕活動の内容として清掃活動ないしは植樹と言った環境保全に関する活動が多いと感じました。もう一つは今日の発表ではありませんでしたがいろんなところに大なり小なりの支援金を出す社会奉仕が多いと思います。どちらも大事なことだと思いますが、特に環境保全を目的とした清掃とか植樹といった奉仕には出来るだけいろんな人を巻き込んで顔の見える活動にすることが大事である。ロータリアンだけで清掃や植樹をするのではだいぶ意味が薄くなってしまいます。また、事業を行った後にはその反省と見直しを行い同じ事の繰り返しではなくアップデートしていく事が重要である。

と総括のお話がありました。



「地区研修・協議会の報告」

次期青少年奉仕委員会 委員長 磯 島 理 恵 会員

青少年奉仕の部門別協議会の報告をさせていただきます。

未来を育てる奉仕の会の勉強ということで、それぞれのクラブでの取り組みを発表頂き、質疑応答させて頂く進行でしたが、経験の浅いメンバーのために、まずは、ローターアクトクラブ（18歳以上の若者が活動を通じて地域社会における将来の指導者を育成するプログラム）とインターアクトクラブ（12歳から18歳までの青少年の社会奉仕クラブ）について説明頂きました。

地区では、ローターアクトクラブは8クラブ、インターアクトクラブは12クラブ取り組まれているとのことです。

出雲南ロータリークラブでは、出雲北陵高校生が部活動として2000年から続けられており、高瀬川清掃活動や保育園のお手伝い、介護施設への訪問をされています。

岡山丸の内ロータリークラブでは、就実高校生（30名ぐらい）が清掃活動や絵本企画作成等、元RSKアナウンサー講師の下、絵本の読み聞かせをされているそうです。

岡山西ロータリークラブでは、岡山理科大学学生が障害者福祉ボランティアや薬物防止キャンペーン、駅前桃太郎像の清掃の活動をされており、当初は10名程度でスタートして、4年前は1名になり、乗馬クラブで会員増強していき、次年に30名、次年に70名、現在は90名参加しているとのことです。

岡山旭川ロータリークラブでは、昨年度から岡山大学生が活動されていて、廃棄する果物を買取してジュース等の販売、宣伝・広告も学生たちで考え活動されているそうです。きっかけは交換留学生の経験のあるメンバーのお子さまが、先頭をきって始められたとのお話でした。10名で設立され、今は50名くらいになっているそうです。

ロータリークラブの青少年交換を行っているクラブとして、米子南ロータリークラブ、鳥取ロータリークラブ、鳥取西ロータリークラブのお話もありました。

最後にローターアクトクラブやインターアクトクラブに参加された方が後にロータリークラブへの入会に繋がっていくので、青少年交換も積極的に使われたらいいかと思いますと言われていました。

様々な取り組みをお聞きして、大変勉強になりました。ありがとうございました。

新天地育児院における社会奉仕活動のご報告

社会奉仕プロジェクト

常任委員長 中山賢太郎 社会奉仕委員長 宮井 宏 職業奉仕委員長 吉田 穰人 青少年奉仕委員長 内座 隆文

去る4月27日（土）に、社会奉仕3委員会（社会奉仕、青少年奉仕、職業奉仕）の合同事業として、新天地育児院における社会奉仕活動を実施しました。ご参加いただいた会員の皆さま、ありがとうございました。以下の事業の報告をいたします。

1. 事業の趣旨

事業の趣旨は、新天地育児院の敷地内にある石井十次館および石井十次記念聖園周辺の環境整備活動を行うとともに、施設の子ども、職員との交流を通じた青少年育成、職員への職業奉仕を通じて、児童養護の取り組みを支援するとともに、施設の社会的認知を高めることにありました。



新天地育児院入口



石井十次像

新天地育児院は、児童福祉の父と呼ばれる石井十次氏ゆかりの児童養護施設で、家庭環境で養育が困難な子どもたちを預かって共同生活を送り、自立を支援しています。

職員は、一般家庭で当たり前にしてやれることを与え、子どもたちが「自分たちは大切にされている」と感じられるようなケアをおこないたいと考えていましたが、予算などの面で実現が難しいことが多々あるという状況にあり、人員の面で敷地の環境整備に手が行き届かないこと、地域とのつながりを持つことも課題でした。



会長挨拶



清掃開始

そこで、環境整備活動と子どもたちとの交流を通じて、施設と地域社会とのつながりの一つとなれないかと考えました。

2. 活動の様子

1週間ほど前から小雨の予報が続いており、計画の内容での開催が危ぶまれましたが、当日は早朝に雨が上がり、曇り空の過ごしやすい気候の中で計画通りに活動を行うことができました。

岡山北RCの会員は、当初の予定を上回る20名に参加をいただき、施設の子ども15名、職員15名、合計50名で事業に取り組みました。

まず1時間程度、新天地育児院の敷地や石井十次記念聖園の清掃・環境整備活動を行いました。落ち葉を集め雑草を除去するという作業を、児童、職員と共に和気あいあいと進めていきました。岸本会長は石井十次記念聖園の石碑をブラシと高圧洗浄機で丹念に洗い、部分的ではありますが非常にきれいになりました。



掃除の様子

その後、2時間程度の交流会（バーベキュー）を開催しました。会員が食材を焼いて子どもたちに振る舞い、子ども・職員・会員の交流を深めることができました。



55周年記念事業の椅子も活躍



永山幹事BBQの食材お世話になりました



中山奉仕常任委員長 大忙し



交流会の中で、クラブ写真館さんにご協力をいただき、事前に撮影してもらった記念写真を、卒園・卒業を迎える子どもたちに手渡し、みんなで祝福する時間を設けました。自身のかしまった写真を照れながら受け取る子どもたちの表情が非常に印象的でした。代表の子どもから、日頃の感謝のメッセージが職員に向けて送られました。



幼・小・中・高の卒業年度の子供達に卒業記念写真を



代表して御礼の言葉

3. 活動から得られたこと

環境整備活動では、落ち葉まみれだった敷地が幾分すっきりとし、手入れがなされている感じになりました。共に汗を流して支援できたことで、会員同士の交流も深まったと思います。

卒園・卒業を迎える子どもたちを祝福する場を設けられたことは、青少年育成の面でも意義があったと思います。彼らが主役となり、記念写真を撮影、多くの大人の前で贈呈されることで、彼らの大切な思い出となり、将来親になったときの良い経験にもなると期待しています。

子どもからの感謝の言葉の披露は、職員へ思いを伝える良い機会となり、職業奉仕の側面でも価値がありました。



クラブ写真館 小山様



子供達から小山様へのお礼色紙

地域とのつながりをもった施設を目指す新天地育児院と、私たちロータリアンとのつながりができたことも大きな収穫だったと思います。親にうまく養育してもらえない子どもたち、その子どもたちと共同生活を送りケアする職員たちが、どのような雰囲気与生活を送っているのか、これを肌感で知り関係をもつ機会を作れたことは今後の支援につながっていくものと期待しています。

また、山陽新聞社の記者に清掃活動から交流会まで取材していただき、翌日の朝刊に掲載していただくことができました。新天地育児院と児童養護の取り組み、当クラブの認知度の向上にもつながったと思います。

児童養護は社会全体で取り組むべき重要な課題です。本事業を通じて、その必要性を改めて実感するとともに、継続した支援の意義を確認することができたと思います。



児童施設訪れ
清掃奉仕で交流
岡山北RC
岡山北ロータリー
クラブ(RC)は27日、
岡山市中区門田本町の
児童養護施設・新天地
育児院を訪れ、清掃奉
仕で子どもたちと交流
した。クラブ創立55周
年記念事業の一環。
同RCから20人が訪
問。育児院の子どもた

落ち葉を拾い集める岡山北
ロータリークラブの会員ら



ちとともに、約1時間
かけて草を抜いたり、
落ち葉を拾い集めたり

した。「あと少し頑張
ろう」などと声をかけ
て励まし、敷地内にあ
る記念碑はブラシで丁
寧に磨いた。終了後
はバーベキューで子ど
もたちとのひとときを
過ごした。
岡山北RCは196
9年に発足した。岸本
達也会長(60)は「奉仕
活動で子どもたちに喜
んでもらうと同時に、
身近にある児童養護施
設を多くの人に知って
もらい、支援の輪が広
がれば」と話した。
(中村真理亜)

(4月28日 山陽新聞)